

イ. 調理実習教材の研究

(ア) 基礎的技能の指導

(イ) 第5、6学年の食物教材の研究と実習

⑥ 参加者

北会津出張所管内 40名  
西白河出張所管内 40名 } 計 120名  
安達出張所管内 40名 }

(2) 図画工作（美術）実技講習会

① 目的

小学校（中学校）の図画工作（美術）教育の振興を図るため、図画工作（美術）科指導者の実技および指導力を高めることを目的とする。

② 主催 福島県教育委員会

③ 講師

県教委事務局指導課指導主事 吉田為明  
同 指導主事 石川光夫  
同 田村出張所指導主事渡辺保男  
白河市立東北中学校教諭 福田利秋  
平市立第一中学校教諭 植田 稔

④ 期日および会場

棚倉会場 昭和40年10月8日（金）棚倉中学校  
浪江会場 昭和40年10月27日（水）浪江小学校

⑤ 内容

ア. 版画（木版多色刷）  
イ. いろいろなものを作る（くふうする力）  
ウ. デザイン（基礎から応用へ）

⑥ 参加者

棚倉会場 80名 } 計 240名  
浪江会場 160名 }

(3) 音楽実技講習会

① 目的

音楽教育の器楽のうち、とくに「アコーディオン」奏法の実技を中心とする研修を行ない、指導上の問題点などについての説明など指導技術の向上を図るために実施された。

② 主催 福島県教育委員会

③ 講師

県教育委員会事務局指導主事 藤井 勇  
東洋音楽大学講師  
全日本リード合奏連盟顧問 大場善一  
全日本器楽指導連盟代表理事

④ 期日および会場

昭和40年11月1日 須賀川第一小学校  
昭和40年11月2日 喜多方第二小学校

⑤ 参加者

須賀川会場 135名 } 計 245名  
喜多方会場 110名 }

### 第3節 教育課程

新教育課程は、小・中学校についてはすでに完全実施され、じゅうぶんその趣旨が徹底し、今年は高等学校が完全実施になり、計画も着々と充実され、おおむね適切に実施された。なお、新教育課程の実施にともなう指導上の諸問題を研究協議し、その解明を図って、教職員の指導力の向上に資するため、小・中・高等学校を通じて教育課程研究集会を開催したので、これについて次に述べる。この研究集会の成果は「昭和40年度福島県教育課程研究集会集録」として各学校に配布した。

#### 1 小 学 校

(1) 目 的

小学校の新教育課程の実施にともなう指導上の諸問題を研究協議し、その解明を図り、教職員の指導力の向上に資する。

(2) 主 催

文部省 福島県教育委員会  
各地区における市町村教育委員会連絡協議会

(3) 協 賛

福島県小学校長会 福島県小学校教育研究会

(4) 期 日 ・ 期 間

昭和40年7月27日（火）28日（水）の2日間

(5) 会 場

- ① 県北地区 福島会場（信夫・伊達・安達各管内）
- ② 県中地区 郡山会場（郡山・岩瀬・田村各管内）
- ③ 県南地区 白河会場（西白河・東白川・石川各管内）
- ④ 会津地区 会津若松会場（南会津・北会津・耶麻・両沼各管内）
- ⑤ 石城地区 平会場（石城管内）
- ⑥ 相双地区 浪江会場（相馬・双葉各管内）

(6) 参 加 者

国・公・私立の小学校教員とし、各会場の参加者数は表のとおりとする。

(7) 研究集会の運営

- ① 部会を次のとおり設け、参加者はそれぞれひとつの部会に所属して研究する。なお各部会には指導助言者・司会者・記録係をおく。  
（国語）（社会）（算数）（理科）（音楽）  
（図画工作）（家庭）（体育）（道徳）（特別教育活動）（学校行事等）
- ② 各部会ごとに研究問題として設定された共通問題を中心に研究する。
- ③ 日程は次のとおりとする。

日	時刻	9:00	9:20	9:50	12:00	13:00	15:50	16:00
第 1 日		開 会 式	オリエン テーション	部 会 ( 共通問題 )	昼食休憩	部 会 ( 共 通 問 題 )		
第 2 日		部 会 ( 共 通 問 題 )			昼食休憩	部 会 ( 共通問題 )	閉 会 式	